

お手伝い遊びのススメ

子どもの喜び・自信・意欲を育てるために

1歳半頃は大人の真似が上手にできるようになり、何でもやろうとする気持ちが育ちます。そして、2歳頃からはできないことでもやりたがるようになってきます。そのため、この時期は子どものやる気を生かしたお手伝い遊びがお勧めです。しかし、この時期はまだ自分がこうしたいということと、自分ができることのギャップがわかりません。大人のサポートが必要です。



1歳半では

こんなことができるようになります

★野菜を取る

買い物のあとや料理の前に、野菜を並べて子どもに取ってもらいます。「にんじんを取ってね」「ブロッコリーちょうだい」など声をかけます。



★野菜を洗う

大きな入れ物に水をたっぷりためて、野菜を洗ってもらいます。



★洗濯物みつけ

取り込んだ洗濯物の山の中から、たたむものを探してもらいます。「これと同じ靴下あるかな?」や「〇〇ちゃんのタオルどこだ?」など声をかけます。自分の靴下やハンカチなど一緒にたたむのも良いでしょう。



★食事の準備や片付け

食事の前に「おはし持って行って」「〇〇にスプーン渡して」など声をかけます。食事後には「お皿持ってきて」と片付けをお願いしてみましょう。



★ お手伝い遊びのポイント ★

● 失敗しにくい環境を整えよう ●

作業しやすいように必要なものだけ並べ、余計な物は置かないようにしましょう。



野菜を洗うだけなど、お手伝いの量は子どもにとって無理がなく、集中が続く程度にしましょう。



道具を使う場合には子どもの手にあったものを使いましょう。例えば…すべり止めのついたトレイ、小さいふきん など。



● 子どものやる気を引き出そう ●

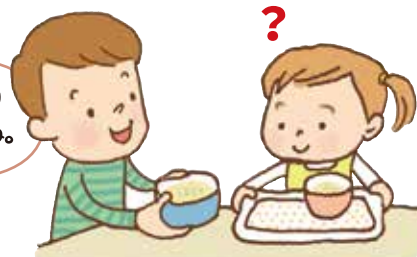
- 子どもの興味に大人が共感し、一緒に見る・聞く・嗅ぐ・触れる・味わうという経験・機会を積み重ねましょう。
- 子どもが頑張ったこと、子どもなりに考えてやったことを具体的に褒めましょう。



運んでくれて、ありがとう。嬉しいな。



〇〇ちゃんより上手にできたね。



- 失敗しても叱らずに対処の方法を教えてください。



机まで運べたね大丈夫だよ、ふきんでふこうね。



なにやってるの。気をつけなさいね。



「ありがとう」と言われた経験は、役に立ったという喜びと共に大きな自信にもなります。そして、その自信はやってみたいという意欲につながります。

ちょっとしたことでもお気軽にご相談ください

横浜市旭福祉保健センター 子ども・家庭支援相談
電話 045-954-6160

時間：月～金（祝日・年末年始除く） 8:45～17:00



旭区マスコットキャラクター あさひくん